稲作　営農情報

【出穂期からの水管理】

出穂当初は、水を多く必要とする時期（10日間くらい）なので、５～６㎝程度の湛水とし、それ以降は２～３㎝の浅水、間断かん水とする。

また、ここ数年は乳白粒やクサビ米等の高温による被害が見られます。これは、刈り取り時期のほ場条件を気にして出穂以降の入水を控える、早期落水するほ場に多く見られます。

気温が30℃以上の時は、用水が十分確保できる場合は、かけ流し等を行い、地温を下げ、稲体の健全化に努める。

時期	水管理
出穂初め～10日	５～６㎝の湛水管理。水を切らさない。
出穂後11日～20日	根の活力維持のため間断潅水（２日湛水、３日落水）
出穂後21日～30日	田面は足跡がつく程度の硬さ。ヒビ割れで根を切らさないこと。
出穂後31日以降	排水の良否を考慮しながら落水。早い落水は食味低下。

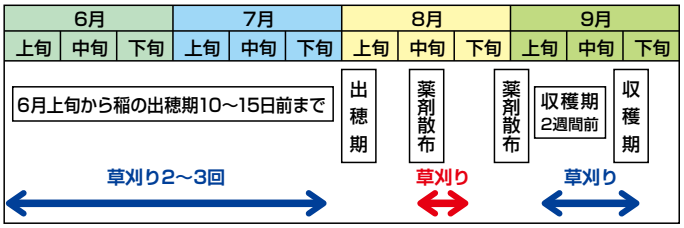
※落水は、出穂後30日を目安にして行いましょう。

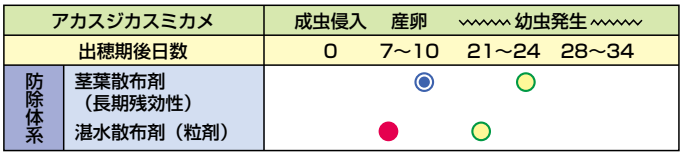
【斑点米カメムシ類の防除体系】

斑点米カメムシ類は雑草地に生育し、稲の出穂期頃から本田に移動し登熟期の割籾を吸汁加害します。

近年、アカスジカスミカメの発生が増加しています。水田内にホタルイ、シズイ等のカヤツリグサ科雑草やノビエ類が多発すると、アカスジカスミカメの水田内への侵入を助長します。

薬剤散布による防除はもちろんのこと、水田内外の雑草対策も徹底する。





【本田防除】

分類	使用時期	使用薬剤	使用量（10aあたり）	使用回数
◉	出穂期10日後頃	スタークル粉剤ＤＬ	３kg	３回以内
◉	出穂期10日後頃	スタークル液剤10	1000倍150ℓ	３回以内
●	出穂期７～10日後	スタークル粒剤	３kg	３回以内
○	１回目散布の14日後頃	キラップ粉剤ＤＬ	３kg	３回以内
○	１回目散布の14日後頃	キラップフロアブル	2000倍150ℓ	３回以内

※アカスジカスミカメが多発しているほ場では、スタークル剤を用いる。
※１回目散布剤との連用を避けるため、追加防除剤はキラップ剤とする。

【休耕田】

散布時期	使用薬剤	使用量（10ａあたり）	使用回数
雑草の生育期	スミチオン粉剤３ＤＬ	３～４kg	３回
	スミチオン乳剤	1000倍100～150Ｌ	３回

今月のあなたの運勢（2015年８月）

牡羊座（3・21～4・19）　物事の細部が気になりやすい時期。どっしり構えた方が吉。雄大な自然の中で深呼吸をすると良い気分転換に